

## はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期毎に調査を行い、D. Iを中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、平成29年1月～3月期の業況実績と、平成29年4月～6月期の見通しについて、管内771先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てれば幸いです。

### ※D. I (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加(上昇)したとする企業と、減少(下降)したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

## \*\*\*\* 目次 \*\*\*\*

1. 概況	1
2. 地区内の業況D. I推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
人手不足下における中小企業の人材活用策	19

(注) 平成29年1～3月を今期、平成28年10～12月を前期、平成29年4～6月を来期という、以下同じ。

### 調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	229	199	86.8	29.1
卸売業	36	34	94.4	5.0
小売業	230	207	90.0	30.2
サービス業	131	116	88.5	16.9
建設業	111	100	90.0	14.6
不動産業	34	29	85.2	4.2
合計	771	685	88.8	100.0

## ◇◆◇ 概 況 ◇◆◇

《 2017・1～3月》

緩やかな改善傾向で推移してきた県内の景況感も、冬場を迎え小幅ながら悪化に転じた。北陸新幹線金沢開業からほぼ2年が経過、全業種に人手不足感が強まってきている。建設現場での作業員確保が出来ず施工の遅れが生じている鉄鋼業や、その反動で資材の需要が一服している資材卸売業など、さらには人件費の上乗せによる人材の確保に努めざるを得ないサービス業などでは収益を圧迫し、各々景況感の悪化を示す要因となっている。

一方、製造業の主要業種は好調を維持しており、電気機械や建機製造などは大きく改善を示した。個人消費においては、乗用車販売や衣料品販売に陰りが見られ、サービス業では主要温泉地の宿泊数が減少に転じた。

こうした中、当金庫営業地区の今期（平成29年1月～3月）業況D. Iは、△26.9と前期比10.9ポイント悪化を示した。

地区内全体では不動産業を除くすべての業種で悪化を示している。製造業では好調を維持する電子部品・半導体製造を除くほとんどの分野で悪化となり、卸売業では特に建築資材関連が低調に推移、医薬品や電化製品販売が悪化した小売業、サービス業では、季節柄入込客の減少に伴い飲食関連が大きく悪化を示した。

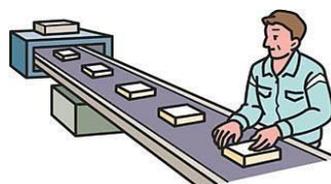
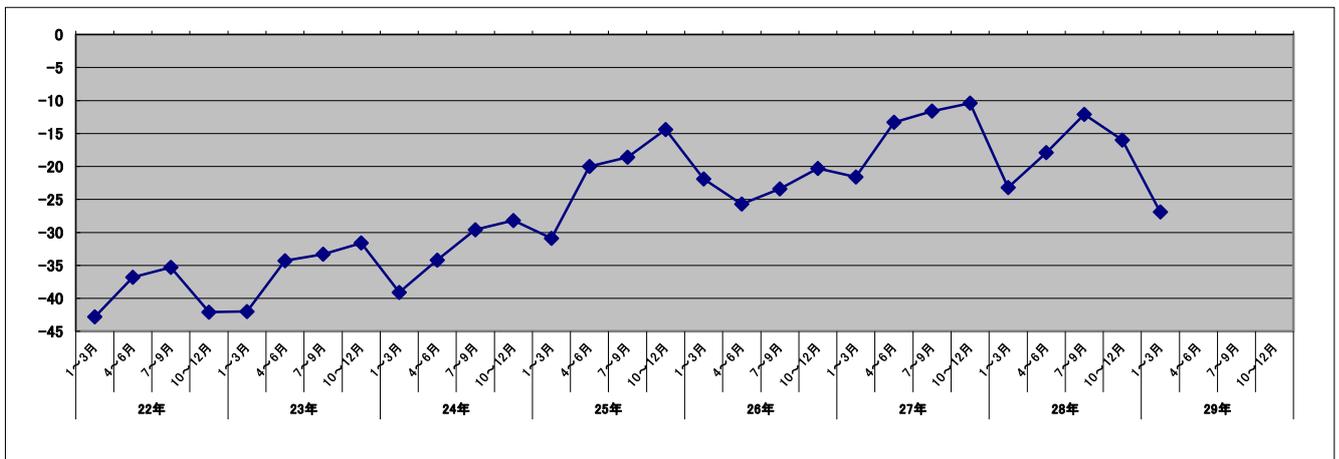
地場産業では、住宅完成が減少した建具業や受注減に転じた織布業の悪化が大きく、販売先の在庫調整で大幅な受注減となった繊維・雑品業やオフシーズンに入った観光業、漆器業で悪化を示す企業が多かった。

来期（平成29年4月～6月）の地区内における景況は、建設業を除いた業種で改善に転じると見込んでおり、業況D. Iは△20.6と改善を予想する。製造業ではやや先行き不透明感は否めないものの、今期悪化した建具や織布業で改善に転じると見込み、漆器業やサービス業においては観光シーズンの到来とゴールデンウィークを迎え、入込み客数の増加による売上と収益増を見込む。卸売業では建築資材関連や食肉卸が好調と予想し、小売業においては自動車、衣料品、文具類の販売増加が見込まれるとなっている。不動産業は好調さを維持するも、在庫不足が顕著となってきた先が多い。一方、製造業の中でも好調を維持してきた電子部品・半導体製造業や縫製業では悪化を予想している。

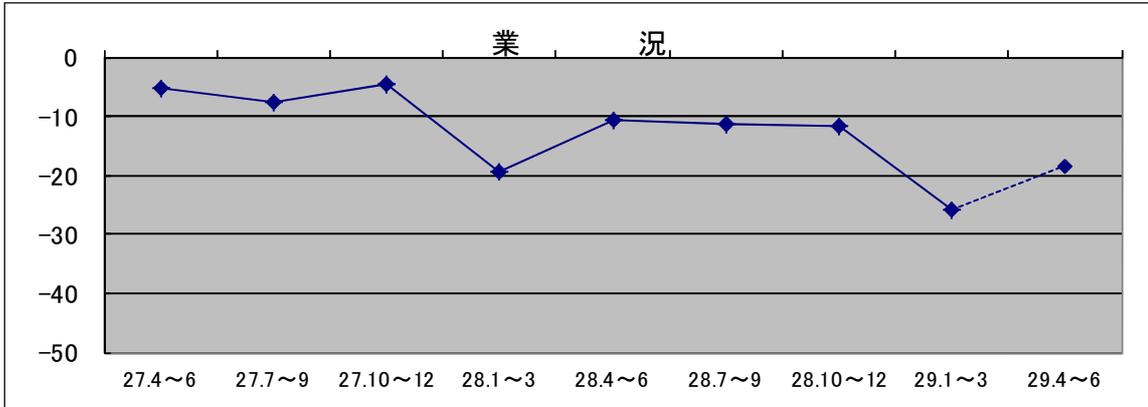
当金庫では、今年3月21日に金沢支店を今までの市内中心部から駅西地区へ移転させたが、旧店舗の近隣においては宿泊施設の建設ラッシュが続いている。コインパーキングやオフィスビルが次から次へとホテルやマンションへと姿を変え、数年前までオフィス街の様相を呈していた場所がすっかり様変わりをする勢いである。新幹線開業以来増加を続ける国内外の観光客やビジネスでの来訪者を対象として、県内外の企業が我先にと進出してきている。県では交流人口の増加による経済効果に期待を寄せるが、一方で、迎える県民のマナー向上によりリピーター増加にも努めていくことが必要と思われる。

# 地区内の業況D. I 推移

年	期間	業況D. I	年	期間	業況D. I
H22年	1~3月	△ 42.8	H26年	1~3月	△ 21.9
	4~6月	△ 36.8		4~6月	△ 25.7
	7~9月	△ 35.3		7~9月	△ 23.4
	10~12月	△ 42.1		10~12月	△ 20.3
H23年	1~3月	△ 42.0	H27年	1~3月	△ 21.6
	4~6月	△ 34.3		4~6月	△ 13.3
	7~9月	△ 33.3		7~9月	△ 11.6
	10~12月	△ 31.6		10~12月	△ 10.4
H24年	1~3月	△ 39.1	H28年	1~3月	△ 23.2
	4~6月	△ 34.2		4~6月	△ 17.9
	7~9月	△ 29.6		7~9月	△ 12.1
	10~12月	△ 28.2		10~12月	△ 16.0
H25年	1~3月	△ 30.9	H29年	1~3月	△ 26.9
	4~6月	△ 20.0		4~6月	
	7~9月	△ 18.6		7~9月	
	10~12月	△ 14.4		10~12月	



# 製造業



## 【概況】

製造業全体では、今期（H29.1～3月）の業況D. Iは△26.0（前期△11.8）と大きく悪化を示した。好調に推移している電子部品・半導体製造業と横這いで推移した縫製業を除き、ほとんどの製造分野で悪化を示した。

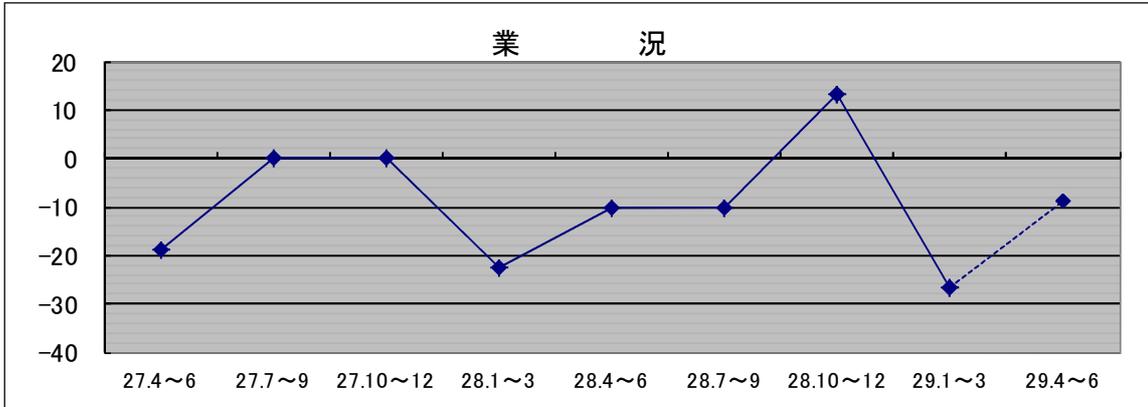
来期（H29.4～6月）については、改善を予想する建具製造や織布、横這いを予想する漆器や木材、悪化を予想するその他の分野を総合して、製造業の業況D. Iは△18.5と7.5ポイントの改善を予想している。しかしながら、例年に比べても改善幅は少ない。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年			平成28年			平成29年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△5.3	△7.7	△4.4	△19.4	△10.8	△11.2	△11.8	△26.0	△18.5
売上	△3.3	5.3	11.3	△22.3	△2.5	△7.1	△2.9	△23.0	△9.5
収益	△3.8	△2.9	4.4	△18.4	△5.9	△10.7	△4.9	△29.0	△13.5
資金繰り	△22.0	△17.9	△7.8	△18.9	△10.8	△7.6	△9.8	△15.5	△10.5
人手	△12.0	△14.5	△15.2	△11.2	△11.3	△7.6	△10.3	△11.5	△12.5
設備	△10.5	△11.1	△8.3	△7.8	△7.8	△9.1	△6.9	△6.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	17.0 %	提携先を見つける	26.4 %
輸入製品との競争の激化	13.2 %	経費を節減する	18.3 %
同業者間の競争の激化	8.7 %	販路を広げる	17.6 %

# 卸売業



## 【概 況】

卸売業全体の今期（H29. 1～3月）業況D. Iは△26.5（前期13.3）と大きく悪化を示した。前回調査の予想に反して鶏卵や食肉は好調を維持したが、特に建築資材関連や鮮魚で悪化が見られた。

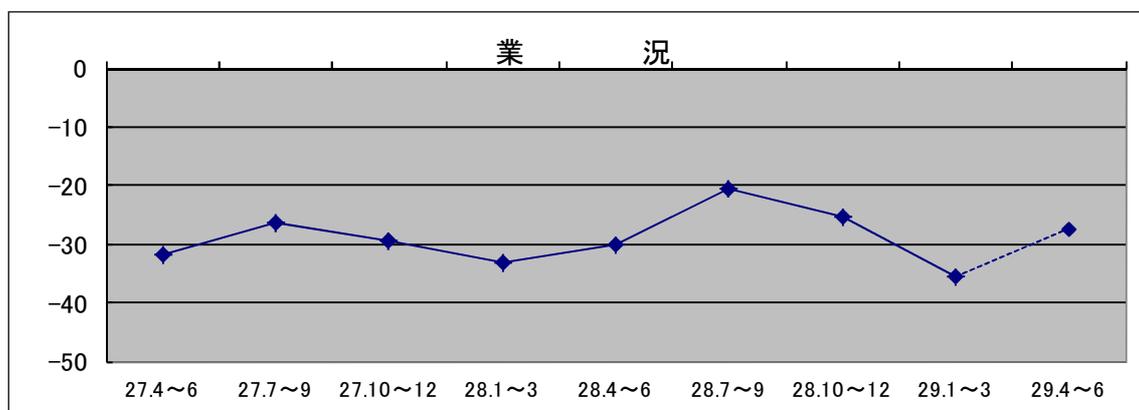
来期（H29. 4～6月）の見通しは、青果や鮮魚で悪化を予想するも、引き続き鶏卵や食肉で好調を予想、加えて木材、建築・住宅資材、菓子で改善を見込む先が多く、卸売業全体の業況D. Iは△8.8と大きく改善に転じると予想している。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年			平成28年				平成29年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△18.8	0.0	0.0	△22.6	△10.3	△10.0	13.3	△26.5	△8.8
売 上	△12.5	△3.2	6.2	△25.8	△3.4	△23.3	△6.7	△41.2	△2.9
収 益	△12.5	△9.7	9.4	△32.3	△6.9	△23.3	△3.3	△44.1	△5.9
資金繰り	△25.0	△6.5	△6.2	△6.5	△10.3	△10.0	△3.3	△17.6	△17.6
仕入価格	21.9	16.1	34.4	9.7	17.2	10.0	△3.3	△5.9	△2.9
在 庫	△15.6	0.0	9.4	3.2	3.4	3.3	0.0	△17.6	△5.9

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	21.2 %	提携先を見つける	25.7 %
売上の停滞・減少	16.7 %	販路を広げる	21.6 %
仕入先からの値上げ要請	10.6 %	経費を節減する	17.6 %

## 小売業



### 【概 況】

小売業では、ガス・油類販売や食品小売、カー用品で好調さが見られたが、反面、医薬品販売、電化製品販売などは悪化したとの先が多く見られた。小売業全体では今期（H 2 9． 1～3月）の業況D． Iが△35． 7（前期△25． 2）と悪化を示した。

来期（H 2 9． 4～6月）は、自動車販売や衣類販売、文具販売で改善を予想する一方、ガス・油類販売で悪化を予想し、飲食業においても悪化を予想した企業が多かった。

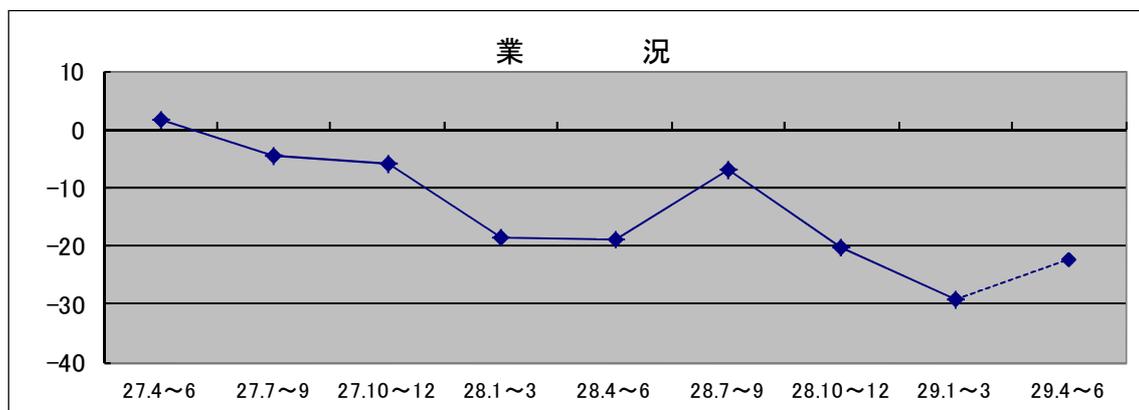
結果、来期業況D． Iについては見通しを△27． 5と改善するとの予想となった。

### 《業績判断D． Iの推移》

	平成27年			平成28年				平成29年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△31.9	△26.4	△29.3	△33.3	△30.0	△20.6	△25.2	△35.7	△27.5
売 上	△20.1	△10.4	△17.6	△22.7	△21.0	△10.3	△21.8	△29.5	△14.5
収 益	△24.5	△15.4	△17.1	△24.2	△24.3	△13.2	△24.8	△30.0	△12.6
資金繰り	△21.1	△20.9	△20.0	△24.6	△20.5	△16.2	△27.7	△26.1	△19.8
販売価格	12.3	△7.0	△6.8	△5.8	1.0	△1.5	1.0	1.9	△1.9
在 庫	△0.5	△1.0	2.4	1.9	4.3	3.9	0.0	△7.2	△6.3

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	17.7 %	仕入先を開拓・選別する	29.1 %
地価の高騰	15.6 %	経費を節減する	22.2 %
商圏人口の減少	13.3 %	品揃えを改善する	10.6 %

# サービス業



## 【概 況】

季節柄観光シーズンオフに入ったことにより入り込み客が減少、宿泊業や観光業で悪化に転じる先が多く、車両修販業や理・美容業やクリーニング業等も低調に推移した。結果、サービス業全体の今期（H29. 1～3月）業況D. Iは△29.3（前期△20.3）と悪化した。

春の観光シーズンの到来やゴールデンウィークに向け、入り込み客の増加に期待が大きく、温泉旅館等宿泊業で大幅な改善を、又、飲食業や車両修販業についても改善に転じると予想している。

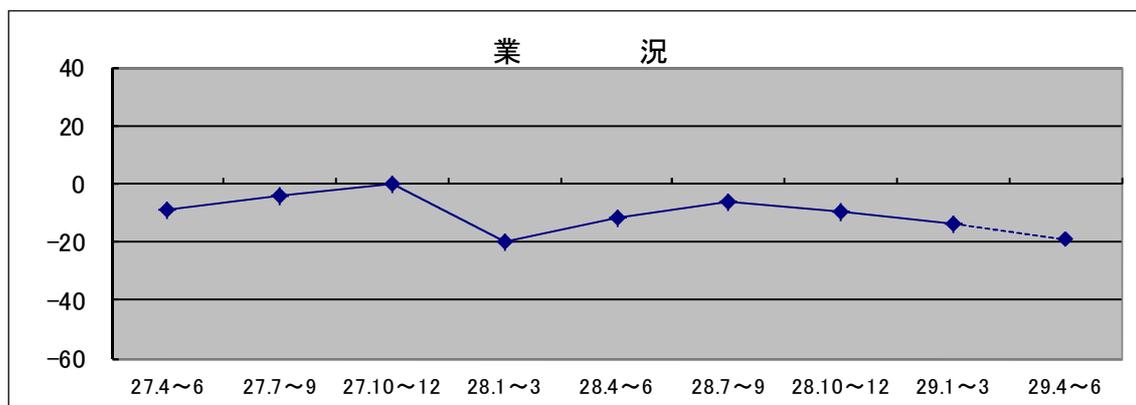
来期（H29. 4～6月）のサービス業全体での見通しは、△22.4と今期に比べ6.9ポイントの改善を予想する。

### 《業績判断D. Iの推移》

	平成27年			平成28年				平成29年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	1.7	△4.4	△6.0	△18.6	△18.8	△6.8	△20.3	△29.3	△22.4
売上	5.1	0.0	△12.8	△19.5	△10.7	0.0	△15.3	△29.3	△12.1
収益	5.1	0.9	△12.0	△22.9	△13.4	△8.5	△19.5	△33.6	△17.2
資金繰り	△5.9	△4.4	△19.7	△18.6	△17.0	△16.2	△15.3	△24.1	△17.2
料金価格	6.8	4.4	1.7	△2.5	△0.9	△3.4	△1.7	△6.0	△5.2
設備	△12.7	△5.3	△6.0	△6.8	△8.0	△8.5	△7.6	△7.8	△0.9

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	17.0 %	提携先を見つける	25.0 %
売上の停滞・減少	16.0 %	経費を節減する	16.0 %
同業者間の競争の激化	16.0 %	販路を広げる	13.0 %

## 建設業



### 【概 況】

冬季を迎え年明けの時期でもあり住宅建設に一服感が漂い、関連である電気や配管工事も低調に推移した。土木工事や板金工事の一部においても引き続き悪化したとする企業が多かった。

今期（H29.1～3月）業況D. Iは△14.0（前期△9.9）と悪化を示した。

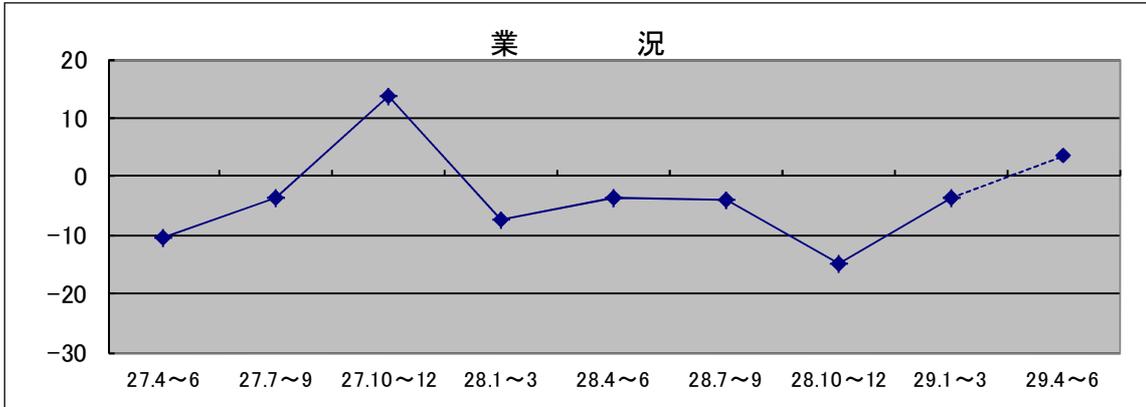
来期（H29.4～6月）の業況D. Iは△19.0と今期より更に5.0ポイントの悪化を予想している。住宅建設の持ち直しが予想され、それに伴い関連業種も改善に転じると予想するも、土木工事に明るい兆しが見えず、結果、全体での改善には及ばないとの見方が多い。

### 《業績判断D. Iの推移》

	平成27年			平成28年			平成29年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△8.9	△4.0	0.0	△19.8	△11.6	△5.9	△9.9	△14.0	△19.0
売 上	△12.9	△7.0	3.9	△18.8	△3.2	2.0	△5.0	△19.0	△8.0
収 益	△9.9	△15.0	0.0	△20.8	△6.3	1.0	△9.9	△18.0	△10.0
資金繰り	△8.9	△9.0	△9.8	△15.8	△7.4	△5.9	△10.9	△16.0	△13.0
請負価格	△6.9	△5.0	△9.8	△14.9	△6.3	△2.9	△16.8	△10.0	△10.0
人 手	△4.0	△13.0	△12.7	△3.0	△5.3	△8.8	△10.9	△11.0	△8.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	22.6 %	技術力を高める	30.0 %
売上の停滞・減少	14.0 %	経費を節減する	20.0 %
人件費以外の経費の増加	12.8 %	販路を広げる	13.0 %

# 不動産業



## 【概 況】

今期（H29. 1～3月）業況D. Iは△3.6（前期△14.8）と前回の予想に反して大きく改善を示した。売上、収益も好調に推移したが、一方在庫が不足気味であり、販売単価も低下した結果となった。

来期（H29. 4～6月）は更に改善を見込む企業が多く、業況D. Iは3.6を予想している。これに伴い、多くの企業で在庫不足が一層顕著になってくるとの見方を示している。

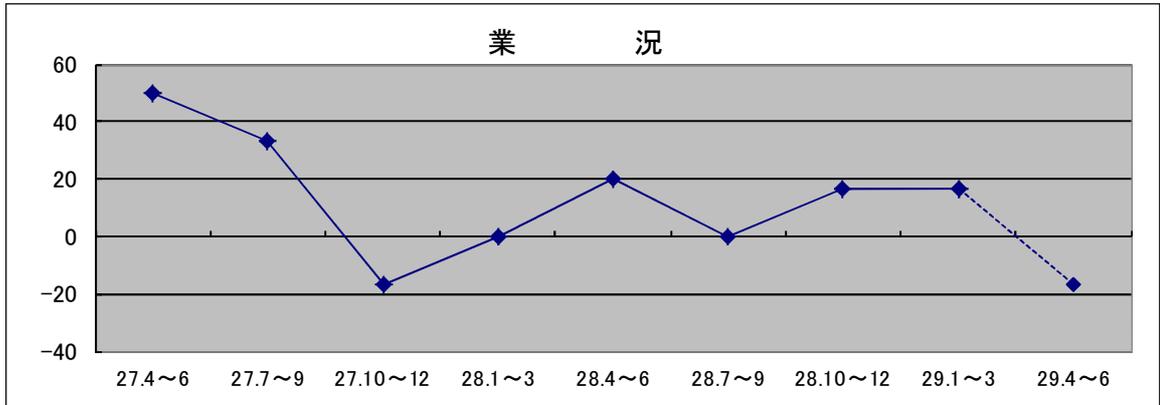
同業者間の競争の激化が経営に与える影響を訴える経営者が多い。

### 《業績判断D. Iの推移》

	平成27年			平成28年			平成29年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△10.3	△3.6	13.8	△7.4	△3.8	△4.0	△14.8	△3.6	3.6
売 上	△3.4	△3.6	0.0	0.0	3.8	0.0	7.4	7.1	0.0
収 益	△13.8	△10.7	△3.4	△3.7	0.0	△8.0	7.4	10.7	3.6
資金繰り	△17.2	0.0	△3.4	△18.5	△3.8	△8.0	△11.1	△7.1	△3.6
販売価格	0.0	0.0	3.4	0.0	11.5	16.0	7.4	△3.6	△10.7
在 庫	△6.9	△10.7	0.0	△3.7	7.7	12.0	3.7	△3.6	△14.3

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	46.0 %	提携先を見つける	16.0 %
売上の停滞・減少	23.0 %	経費を節減する	14.0 %
大手企業との競争の激化	23.0 %	宣伝・広告を強化する	12.5 %

# 能登地区の縫製業



## 【概 況】

売り上げは減少傾向にある。しかしながら、人員整理後の従業員数に見合った仕事量の受注は確保していることから、今期（H29.1～3月）業況D. Iは16.7（前期16.7）と横這いで推移した。

来期（H29.4～6月）については、更なる売上の減少を予想しており、D. Iを△16.7と大幅な悪化を予想している。

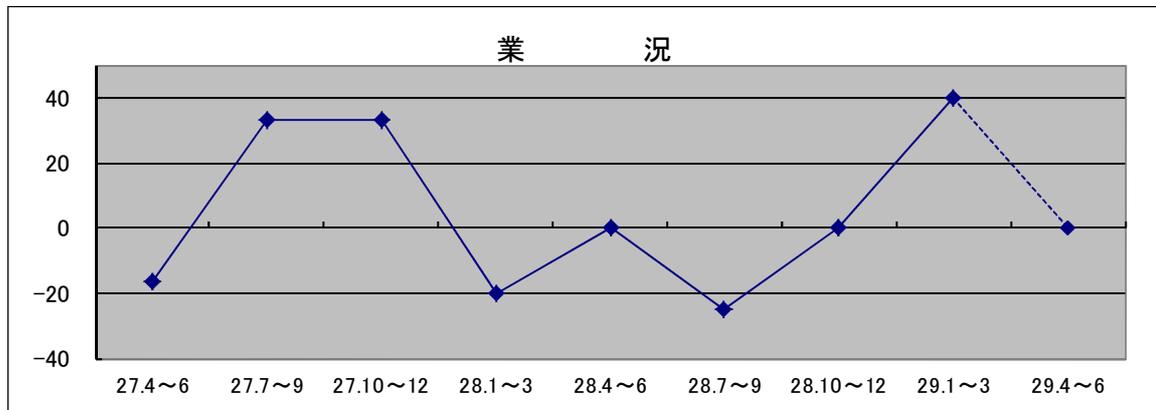
発注先の増加を当面の重点施策と捉え、懸命なセールスによる努力を続けている。一方、経営上の問題点として、相変わらず「売上の停滞・減少」を上位に挙げている。

### 《業績判断D. Iの推移》

	平成27年			平成28年			平成29年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	50.0	33.3	△16.7	0.0	20.0	0.0	16.7	16.7	△16.7
売 上	50.0	0.0	△33.3	16.7	0.0	△14.3	16.7	16.7	△16.7
収 益	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	△14.3	16.7	16.7	△16.7
資金繰り	0.0	△16.7	△16.7	△16.7	△40.0	△14.3	0.0	0.0	0.0
人 手	△33.3	△33.3	△33.3	△16.7	△20.0	△42.9	△33.3	△33.3	△16.7
設 備	△16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	17.6 %	提携先を見つける	31.6%
大手企業との競争の激化	11.8 %	経費を節減する	26.3 %
輸入製品との競争の激化	11.8 %	人材を確保する	15.8 %

## 能登地区の電子部品・半導体製造業



### 【概 況】

業界全体では、PCやスマホ市場の伸び悩みを受け、新たな成長分野と捉える自動車のIT化に伴う、昨秋からの自動車部品の半導体及び電化製品部品の生産増加が続き、業界全体の今期（H29.1～3月）D.Iについては、40.0（前期0.0）と大きく改善を示した。

来期（H29.4～6月）の業況は、引き続き円高基調が予想される事に加え、世界経済の不透明感から今期より悪化するとしてD.Iを0.0と予想している。

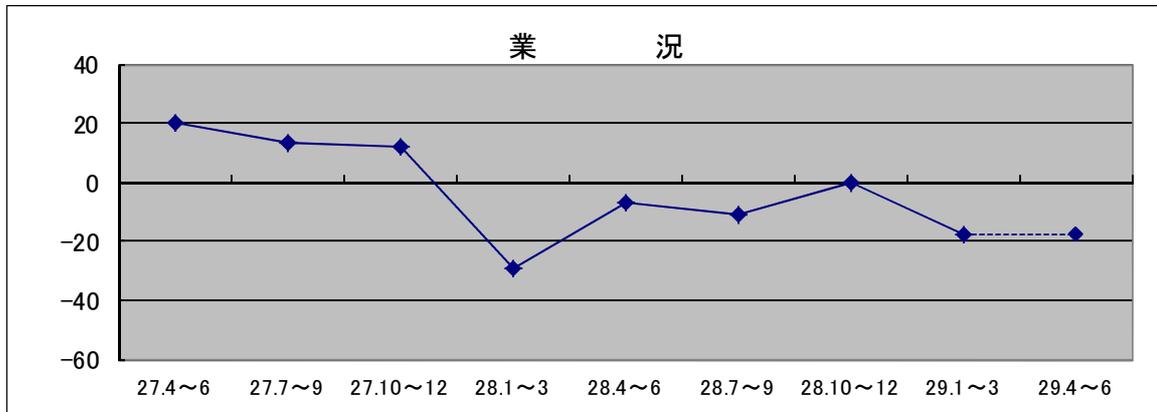
しかしながら、今後IoTの促進など業界にとって明るい材料に期待するも、来るべき時に備えて、今のうちから提携先を確保しておくことが重要であると見ている経営者が多い。

### 《業績判断D.Iの推移》

	平成27年			平成28年			平成29年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△16.7	33.3	33.3	△20.0	0.0	△25.0	0.0	40.0	0.0
売上	△16.7	50.0	33.3	△20.0	20.0	0.0	50.0	0.0	0.0
収益	0.0	50.0	33.3	0.0	△20.0	25.0	50.0	0.0	△40.0
資金繰り	△16.7	0.0	33.3	20.0	△20.0	25.0	△16.7	0.0	0.0
人手	0.0	△16.7	0.0	0.0	△20.0	50.0	△16.7	0.0	0.0
設備	0.0	0.0	△16.7	0.0	△20.0	△25.0	16.7	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	36.4 %	提携先を見つける	40.0 %
販売納入先からの値下げ要請	27.3 %	経費を節減する	26.7 %
売上の停滞・減少	9.1%	販路を広げる	20.0 %

## 能登地区の漆器業



### 【概 況】

例年この時期は業況の悪化が見られる。今期（H29. 1～3月）も業況 D. I は  $\Delta 17.6$ （前期 0.0）と大きく悪化を示した。しかしながら、昨年同時期に比べれば悪化の幅は少ない。

来期（H29. 4～6月）は、観光シーズン到来による入込み客の増加に期待するも、新幹線効果の恩恵を受けた一昨年や昨年のような期待感を持っていないと、業況 D. I を  $\Delta 17.6$  と悪化はしないものの、横這いを予想している。

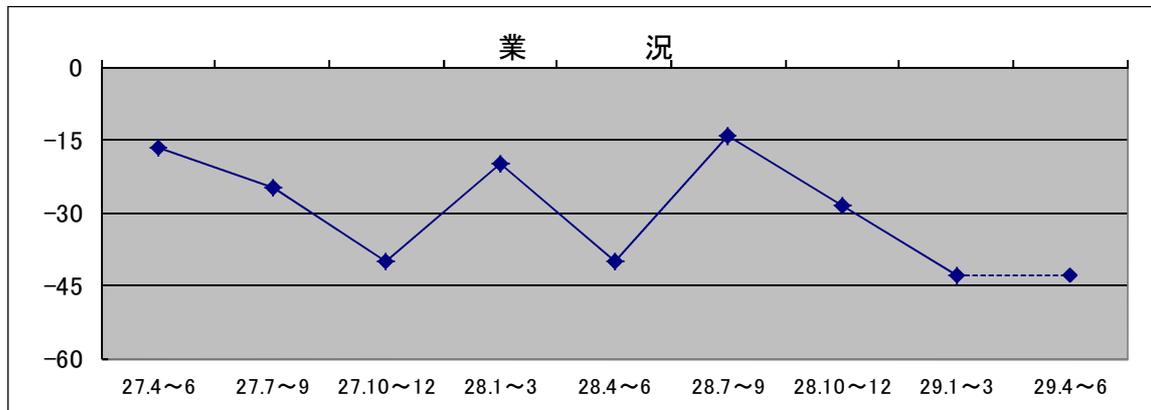
輪島市と漆器商工業協組では、輪島塗職人の確保対策として一人当たり 5 万円を支給し、担い手を育成する目的の取組を開始するとしている。

### 《業績判断 D. I の推移》

	平成27年			平成28年			平成29年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	20.0	13.3	11.8	$\Delta 29.4$	$\Delta 6.7$	$\Delta 11.1$	0.0	$\Delta 17.6$	$\Delta 17.6$
売上	6.7	33.3	52.9	$\Delta 5.9$	6.7	$\Delta 11.1$	$\Delta 7.1$	11.8	$\Delta 11.8$
収益	13.3	6.7	41.2	$\Delta 5.9$	13.3	$\Delta 11.1$	$\Delta 7.1$	5.9	$\Delta 5.9$
資金繰り	0.0	$\Delta 20.0$	5.9	$\Delta 5.9$	$\Delta 13.3$	$\Delta 11.1$	$\Delta 21.4$	$\Delta 5.9$	$\Delta 17.6$
人手	0.0	$\Delta 20.0$	$\Delta 23.5$	$\Delta 11.8$	$\Delta 33.3$	0.0	$\Delta 14.3$	0.0	0.0
設備	$\Delta 13.3$	$\Delta 20.0$	$\Delta 11.8$	0.0	$\Delta 20.0$	$\Delta 16.7$	$\Delta 14.3$	$\Delta 5.9$	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	15.4 %	販路を広げる	20.9 %
同業者間の競争の激化	15.4 %	提携先を見つける	20.9 %
原材料高	12.8 %	情報力を強化する	14.0 %

## 能登地区の木材業



### 【概況】

季節要因もあり住宅建設関連にも一服感が漂い、引き続き外材におされ地元産木材の需要減少も見られた。従って、今期（H29.1～3月）業況D. Iは△42.9（前期△28.6）と2期連続の悪化を示した。

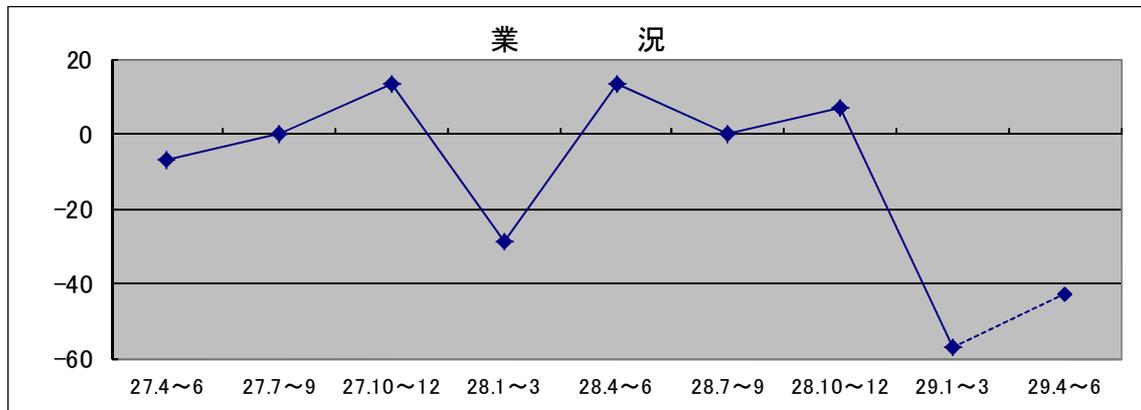
来期（H29.4～6月）については、売り上げの増加は期待できるものの、収益にはつながらず資金繰りの悪化と、加えて地元産木材の需要についても低迷が続くのではとの予想から、業況D. Iも△42.9と横ばいを予想する。そして、この業界も人手不足が深刻化してきている。

### 《業績判断D. Iの推移》

	平成27年			平成28年				平成29年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△16.7	△25.0	△40.0	△20.0	△40.0	△14.3	△28.6	△42.9	△42.9
売上	△16.7	△25.0	△40.0	△20.0	△40.0	△14.3	△14.3	△28.6	△14.3
収益	△16.7	△25.0	△20.0	△20.0	△40.0	△28.6	△14.3	△14.3	△28.6
資金繰り	△16.7	△25.0	0.0	0.0	△20.0	△14.3	△28.6	0.0	△28.6
人手	△16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△42.9	△42.9
設備	△16.7	△25.0	△20.0	△20.0	△20.0	△14.3	△14.3	△14.3	△14.3

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	22.2 %	情報力を強化する	30.8 %
売上の停滞・減少	16.7 %	販路を広げる	23.1 %
地価の高騰	11.1 %	新製品・技術を開発する	7.7 %

## 能登地区の建具業



### 【概 況】

冬季を迎え年明けの時期でもあって住宅の完成の減少から売上、収益、資金繰りなど、ほとんどの項目で大幅な悪化が見られた。従って今期（H29.1～3月）業況 D. I は△57.1（前期7.1）と大幅な悪化を示した。

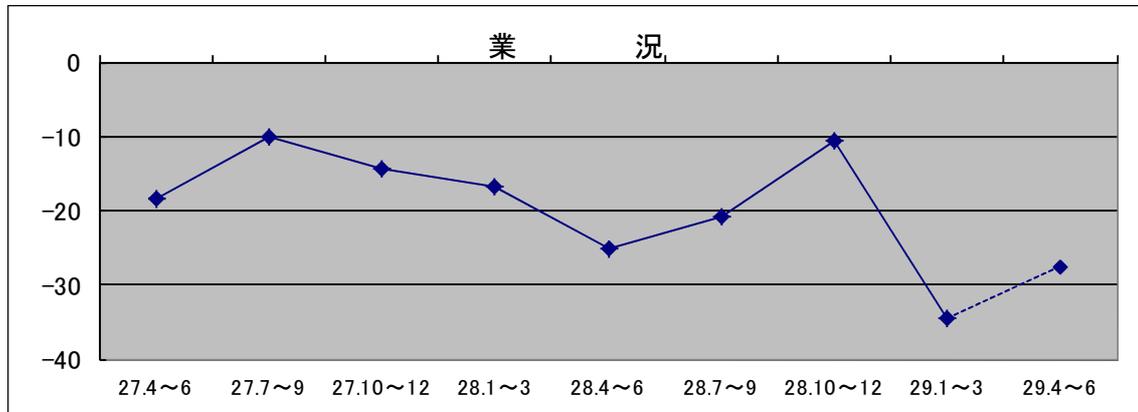
来期（H29.4～6月）の見通しは、売り上げの増加により収益増加、資金繰りの改善につながるものと見込み、全体の業況 D. I を△42.9と14.2ポイントの改善を予想している。しかしながら、この業界も人手不足が顕在化しており、加えて高齢化と事業承継が引き続き大きな課題と思われる。

#### 《業績判断 D. I の推移》

	平成27年			平成28年			平成29年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△6.7	0.0	13.3	△28.6	13.3	0.0	7.1	△57.1	△42.9
売上	△6.7	6.7	46.7	△64.3	20.0	6.7	△7.1	△50.0	0.0
収益	△13.3	0.0	6.7	△28.6	6.7	0.0	△7.1	△71.4	△14.3
資金繰り	△20.0	0.0	△13.3	0.0	△6.7	△6.7	△14.3	△50.0	△7.1
人手	△13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△7.1	△28.6
設備	△13.3	△6.7	△6.7	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	17.1 %	販路を広げる	21.9 %
輸入製品との競争の激化	14.6 %	提携先を見つける	21.9 %
利幅の縮小	7.3 %	経費を節減する	15.6 %

## 能登地区の織布業



### 【概 況】

今期受注量の減少が見られ、工賃単価の低さも相俟って収益の大幅な悪化につながり、資金繰りも厳しい状況の先が多かった。従って今期（H29. 1～3月）業況 D. I においては△34.5（前期△10.7）と大きく悪化を示した。

来期（H29. 4～6月）D. I については△27.6と、若干の改善に転じると予想しているが、今後については、ここしばらく続いた受注に陰りが見られるとの予想に加え、為替相場の変動による影響から先行きに不透明も漂っている。

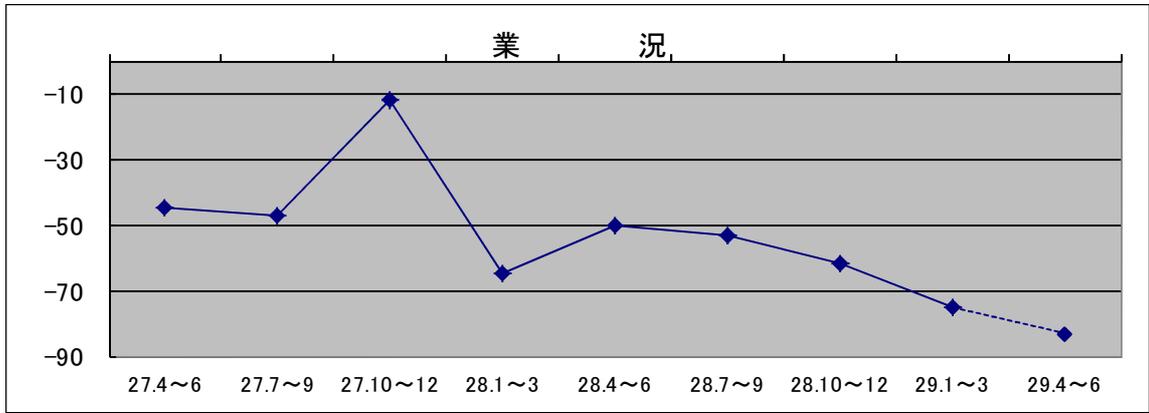
業界全体では、新商品開発、技術の承継、後継者など多くの課題を抱えた経営が続く。

### 《業績判断 D. I の推移》

	平成27年			平成28年			平成29年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△18.5	△10.0	△14.3	△16.7	△25.0	△20.8	△10.7	△34.5	△27.6
売上	△22.2	3.3	△3.6	△20.8	△12.5	△16.7	△3.6	△27.6	△20.7
収益	△14.8	0.0	△3.6	△16.7	△20.8	△25.0	△7.1	△37.9	△17.2
資金繰り	△44.4	△26.7	△17.9	△16.7	△8.3	△8.3	△7.1	△10.3	△17.2
人手	△14.8	△16.7	△17.9	△20.8	△12.5	△16.7	△3.6	△17.2	△10.3
設備	△14.8	△10.0	0.0	△12.5	0.0	4.2	0.0	3.4	△1.4

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
地価の高騰	13.9 %	提携先を見つける	29.6 %
売上の停滞・減少	12.5 %	経費を節減する	21.1 %
工場・機械の狭小・老朽化	12.5 %	販路を広げる	12.7 %

## 能登地区の繊維・雑品業



### 【概況】

定番商品であるアウター製品は大手百貨店の業況不振から受注減少が見られた。レース製造業については、季節要因もあり販売先の在庫調整により大幅な受注減となった。結果、今期（H29.1～3月）業況 D. I は△75.0（前期△61.5）と悪化を示した。

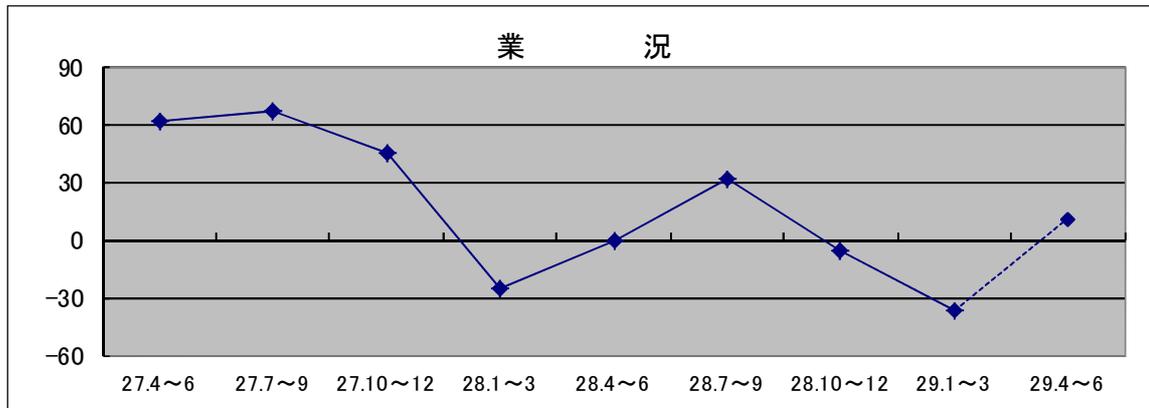
来期（H29.4～6月）も好転が望めないとして業況 D. I を8.3ポイント悪化の△83.3と予想しているが、健康関連グッズであるサポーター等の新商品に活路を見出し、受注増加、販路拡大に繋げている企業も見られ、業界全体の売上や収益の改善への期待が高まっている。

### 《業績判断 D. I の推移》

	平成27年			平成28年			平成29年	見通し	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業況	△44.4	△47.1	△11.8	△64.7	△50.0	△53.3	△61.5	△75.0	△83.3
売上	△33.3	△5.9	11.8	△58.8	△22.2	△53.3	7.7	△83.3	△50.0
収益	△33.3	△5.9	0.0	△41.2	△16.7	△53.3	7.7	△83.3	△41.7
資金繰り	△38.9	△29.4	△11.8	△47.1	0.0	△26.7	△15.4	△33.3	△16.7
人手	0.0	△5.9	△17.6	5.9	△5.6	0.0	△7.7	0.0	0.0
設備	5.6	△5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	△15.4	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	26.3 %	販路を広げる	26.5 %
輸入製品との競争の激化	21.1 %	提携先を見つける	26.5 %
地価の高騰	10.5 %	経費を節減する	14.7 %

## 能登地区の観光業



### 【概 況】

今期（H29. 1～3月）は季節柄観光のオフシーズンということもあり、業況D. Iは△36.8（前期△5.6）と例年同様に大幅な悪化を示した。昨年同時期に比べても悪化の幅は大きかった。北陸新幹線金沢開業効果も薄らいできた状況が窺える。

来期（H29. 4～6月）は春先からゴールデンウィークへと観光シーズンの幕開けもあり、業況D. Iは10.5と大きく改善するとした。当面の重点施策としては、今まであまり見られなかった「宣伝・広告を強化する」、や「人材を確保する」が上位に挙がった。

### 《業績判断D. Iの推移》

	平成27年			平成28年			平成29年	見通し	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	4～6月	
業 況	61.9	66.7	45.0	△25.0	0.0	31.2	△5.6	△36.8	10.5
売 上	42.9	66.7	△5.0	△35.0	17.6	68.8	△16.7	△52.6	21.1
収 益	42.9	61.1	△5.0	△45.0	11.8	50.0	△16.7	△52.6	15.8
資金繰り	23.8	16.7	△10.0	△5.0	0.0	6.2	△11.1	△5.3	15.8
料金価格	23.8	16.7	5.0	0.0	5.9	0.0	△5.6	△21.1	5.3
設 備	△19.0	△5.6	△20.0	△15.0	△17.6	△25.0	△22.2	△5.3	△2.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	20.0 %	宣伝・広告を強化する	19.0 %
店舗・設備の狭小・老朽化	18.0 %	店舗・設備を改装する	16.0 %
売上の停滞・減少	14.0 %	人材を確保する	16.0 %

## 主要経済指標

### ◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
			うち所定外
27年 4月	1.47	158.7	10.9
27年 5月	1.48	145.5	10.1
27年 6月	1.43	156.3	10.4
27年 7月	1.47	155.4	9.9
27年 8月	1.48	149.0	9.9
27年 9月	1.47	149.4	10.5
27年 10月	1.47	150.6	11.1
27年 11月	1.48	151.8	11.0
27年 12月	1.48	149.3	11.3
28年 1月	1.49	142.0	11.0
28年 2月	1.49	148.3	10.8
28年 3月	1.53	152.2	11.0
28年 4月	1.60	156.0	10.9
28年 5月	1.64	143.4	10.3
28年 6月	1.67	155.4	10.5
28年 7月	1.65	154.4	11.2
28年 8月	1.60	148.9	10.7
28年 9月	1.62	151.2	11.2
28年 10月	1.62	149.2	11.4
28年 11月	1.67	153.0	11.8
28年 12月	1.68	152.1	12.0
29年 1月	1.76	141.6	11.6

資料: 石川県企画開発部統計課

### ◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	消費者物価指数	
	総合	前年同月比
27年 4月	102.3	0.8
27年 5月	102.6	0.5
27年 6月	102.5	0.4
27年 7月	102.4	0.4
27年 8月	102.6	0.2
27年 9月	102.6	0.1
27年 10月	102.4	0.0
27年 11月	102.1	-0.1
27年 12月	102.0	0.0
28年 1月	99.3	-0.7
28年 2月	99.1	-0.2
28年 3月	99.4	-0.5
28年 4月	99.7	-0.4
28年 5月	99.7	-0.6
28年 6月	99.7	-0.4
28年 7月	99.6	-0.5
28年 8月	99.6	-0.6
28年 9月	99.6	-0.6
28年 10月	100.1	0.0
28年 11月	100.3	0.4
28年 12月	100.1	0.3
29年 1月	99.9	0.6
29年 2月	100.0	0.8

資料: 石川県企画開発部統計課

### ◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
27年 4月	274	2,752	34,977	291,009
27年 5月	242	2,510	34,440	284,237
27年 6月	301	3,566	33,622	274,354
27年 7月	341	3,720	32,797	264,992
27年 8月	257	3,014	32,042	256,570
27年 9月	266	2,655	31,280	248,105
27年 10月	237	2,020	30,703	240,651
27年 11月	233	2,883	30,189	234,004
27年 12月	288	2,960	29,635	228,541
28年 1月	170	1,710	29,214	223,109
28年 2月	209	2,487	28,703	217,633
28年 3月	323	3,716	27,917	211,772
28年 4月	282	2,521	27,448	207,068
28年 5月	250	2,640	27,079	202,756
28年 6月	256	2,501	26,598	198,544
28年 7月	230	2,527	25,996	193,256
28年 8月	202	2,244	25,491	188,820
28年 9月	252	3,009	24,997	184,133
28年 10月	205	1,906	24,515	179,829
28年 11月	186	1,972	24,000	175,451
28年 12月	204	2,238	23,380	171,671
29年 1月	170	2,097	23,058	168,046
29年 2月	208	2,411	22,663	164,047

資料: 石川県信用保証協会「保証月報」

### ◆ 企業倒産件数

(百万円)

	企業倒産件数	
	件数	金額
27年 4月	9	2,213
27年 5月	7	446
27年 6月	5	257
27年 7月	6	2,629
27年 8月	5	387
27年 9月	4	219
27年 10月	5	182
27年 11月	6	362
27年 12月	7	860
28年 1月	7	615
28年 2月	8	690
28年 3月	10	6,265
28年 4月	14	1,386
28年 5月	7	295
28年 6月	7	191
28年 7月	4	123
28年 8月	6	1,394
28年 9月	8	163
28年 10月	3	94
28年 11月	6	2,024
28年 12月	5	369
29年 1月	6	134
29年 2月	9	3,834
29年 3月	12	1,414

資料: (株)東京商工リサーチ

## 主要経済指標

### ◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
27年 4月	103	17,366	605	66
27年 5月	245	90,534	486	52
27年 6月	120	22,622	704	69
27年 7月	118	19,423	509	56
27年 8月	105	19,462	600	58
27年 9月	115	18,536	714	72
27年 10月	140	27,084	689	64
27年 11月	149	33,454	772	72
27年 12月	119	19,782	645	60
28年 1月	142	26,145	435	40
28年 2月	97	19,478	403	47
28年 3月	99	17,956	521	54
28年 4月	127	28,392	733	72
28年 5月	92	18,391	461	50
28年 6月	139	26,797	863	82
28年 7月	116	24,556	838	77
28年 8月	117	21,307	579	57
28年 9月	106	19,914	702	63
28年 10月	108	19,294	677	63
28年 11月	113	22,517	788	69
28年 12月	78	13,641	524	52
29年 1月	116	21,200	625	58
29年 2月	77	16,435	464	46

資料:国土交通省(石川県内)

### ◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
27年 4月	272	23,484
27年 5月	255	7,630
27年 6月	482	12,843
27年 7月	492	13,986
27年 8月	456	11,679
27年 9月	508	13,493
27年 10月	518	10,839
27年 11月	333	11,062
27年 12月	315	7,244
28年 1月	225	6,449
28年 2月	182	3,119
28年 3月	235	12,468
28年 4月	338	34,735
28年 5月	275	15,943
28年 6月	513	19,460
28年 7月	508	12,376
28年 8月	500	13,461
28年 9月	499	10,879
28年 10月	412	11,321
28年 11月	335	5,985
28年 12月	285	6,018
29年 1月	302	5,792
29年 2月	308	8,997
29年 3月	261	13,715

資料:東日本建設業保証(株)(石川県内)

### ◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
27年 4月	2,159	1,232
27年 5月	2,289	1,223
27年 6月	3,104	1,705
27年 7月	3,088	1,533
27年 8月	2,209	1,136
27年 9月	3,362	1,779
27年 10月	2,613	1,450
27年 11月	2,648	1,371
27年 12月	2,399	1,288
28年 1月	2,343	1,356
28年 2月	3,223	1,932
28年 3月	5,620	3,009
28年 4月	2,269	1,218
28年 5月	2,485	1,131
28年 6月	3,131	1,498
28年 7月	3,035	1,357
28年 8月	2,373	1,186
28年 9月	3,367	1,679
28年 10月	2,841	1,332
28年 11月	2,984	1,476
28年 12月	2,632	1,288
29年 1月	2,584	1,337
29年 2月	3,601	1,832
29年 3月	6,245	2,973

資料:石川県自動車販売店協会

### ◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
27年 4月	61,731	13,900
27年 5月	81,717	22,000
27年 6月	81,156	20,000
27年 7月	74,417	20,600
27年 8月	102,173	25,600
27年 9月	81,742	21,400
27年 10月	95,307	24,000
27年 11月	95,667	21,700
27年 12月	78,739	12,600
28年 1月	61,697	8,100
28年 2月	69,634	10,700
28年 3月	76,739	14,900
28年 4月	61,659	14,100
28年 5月	76,506	20,900
28年 6月	71,019	14,300
28年 7月	67,715	13,100
28年 8月	97,797	22,600
28年 9月	71,912	18,200
28年 10月	85,959	21,000
28年 11月	85,742	19,900
28年 12月	73,422	10,900
29年 1月	54,615	7,400
29年 2月	57,478	7,500

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会  
輪島市観光協会

### ◆ 織物生産高

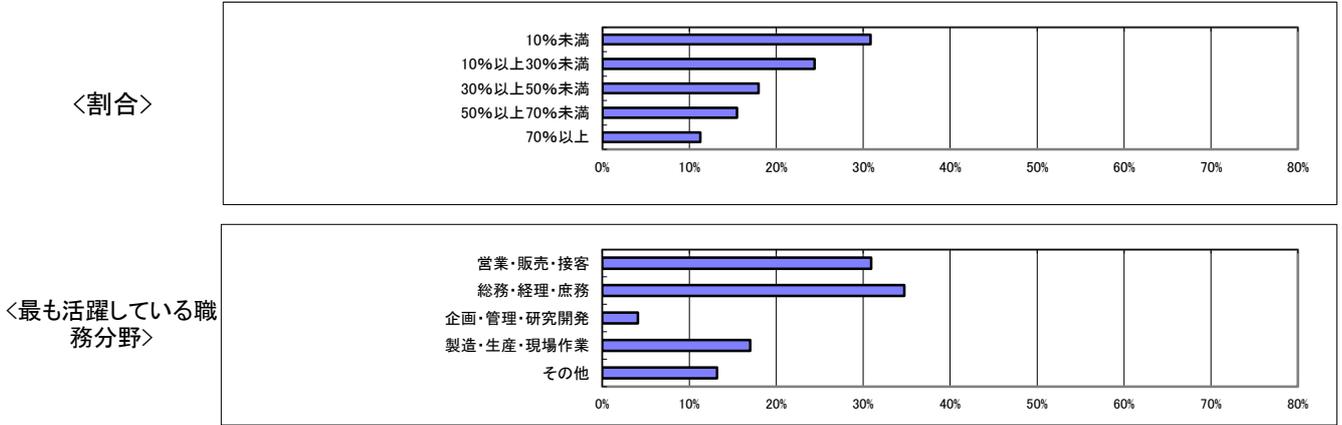
(千㎡)

	合計
27年 4月	24,452
27年 5月	23,515
27年 6月	25,070
27年 7月	25,084
27年 8月	20,007
27年 9月	24,048
27年 10月	23,285
27年 11月	22,433
27年 12月	22,257
28年 1月	21,336
28年 2月	22,811
28年 3月	24,980
28年 4月	23,956
28年 5月	22,187
28年 6月	23,997
28年 7月	23,584
28年 8月	20,160
28年 9月	23,508
28年 10月	23,401
28年 11月	24,335
28年 12月	22,089
29年 1月	20,985

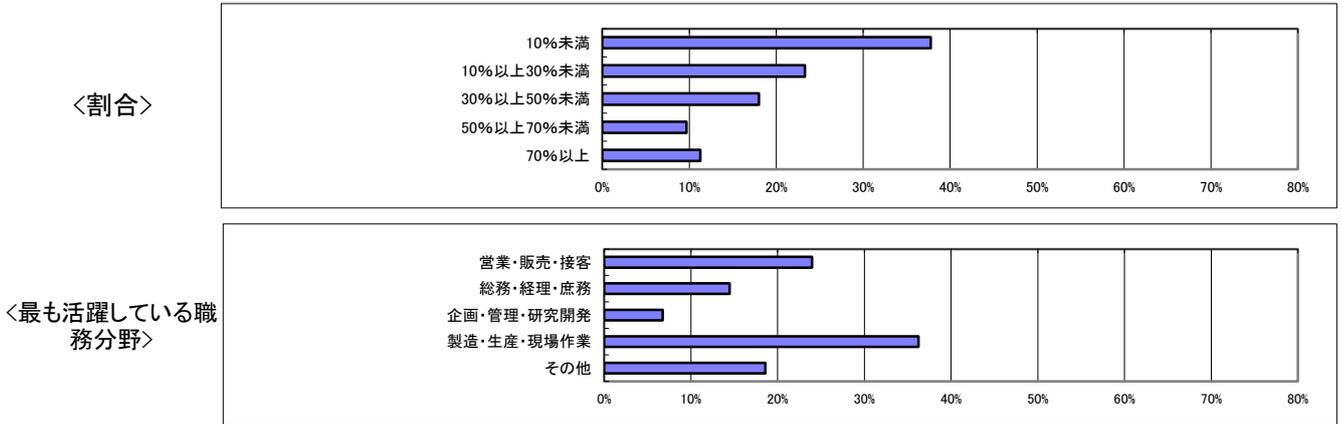
資料:石川県企画開発

# 【人手不足下における中小企業の人材活用策について】特別調査

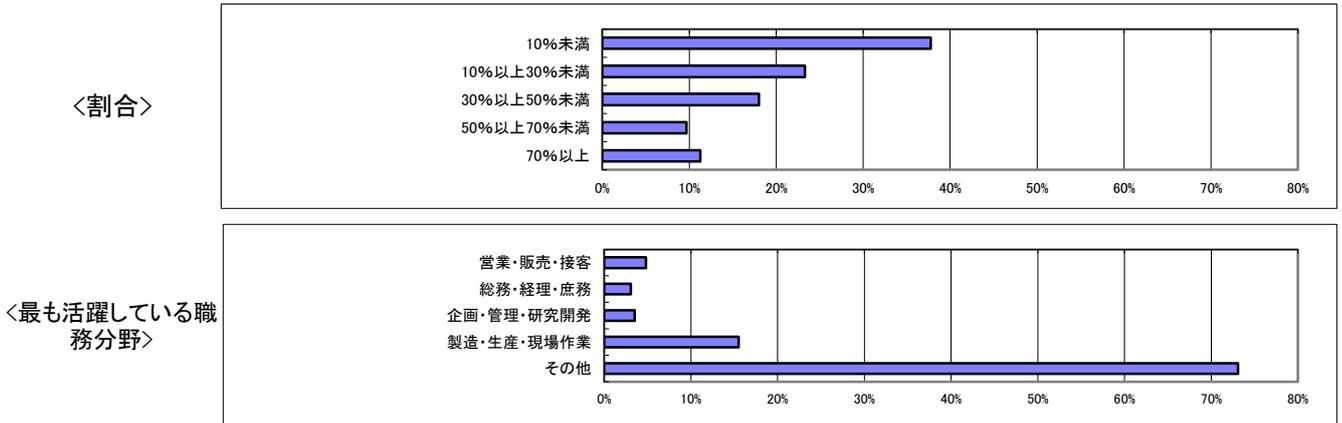
問1. 女性の活躍推進が期待されていますが、貴社の従業員数に占める女性の割合(非正規含む)はおよそどのくらいですか。



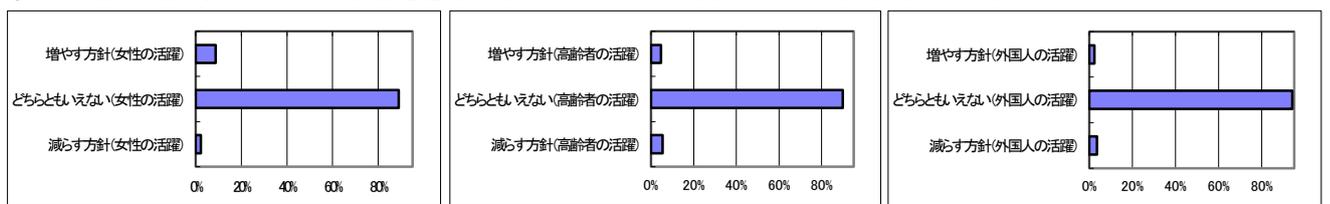
問2. 高齢者(ここでは60歳以上を想定)の活躍推進について、貴社の従業員数に占める高齢者の割合(非正規含む)はおよそどのくらいですか。



問3. 外国人の活躍推進について、貴社の従業員数に占める外国人の割合(非正規含む)はおよそどのくらいですか。



問4. 女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについて、今後どのようにお考えですか。



問5. 政府は「働き方改革実現会議」で9項目を課題として検討しています。貴社が注力しようとするものを3つ以内で選んでください。

